

# 防犯・交通安全アプリを活用した 「しずおかランニングパトロール」の実践活動事例

## 事業担当者

健康プロデュース学部心身マネジメント学科 木村 佐枝子  
常葉大学ランパト隊：17名

## 目的・概要

社会に貢献できる人材育成は高等教育の重要な使命である。本活動では、地域連携型の防犯教育に焦点をあてる。大学生が防犯ボランティアに参加することで、規範意識の向上や加害者・被害者となる防犯抑止や効果が期待できる。また、規範意識を向上させることで結果として地域の犯罪抑止や安全安心なまちづくりに貢献することが可能である。

大学近隣の小学校区において、児童の下校見守り活動を目的に静岡県全域で実施されている「ランニングパトロール」を実施する。その際に、香川大学開発アプリ（防犯ウォーキング/交通安全ヒヤリハット）を用いて、地域の安全・危険箇所、ヒヤリハットの場所を地図上のアプリにプロットしていく。

### <活動のフロー>



## 事業成果

事前事後の活動に行ったアンケート調査から、活動した学生の防犯意識や交通安全の意識の向上が見られた。アプリを活用したことで「危険箇所の写真を取り共有することにより、全員が共通意識を持つことが出来た」「危険箇所の把握を的確に行うことができた。アプリを使うことでただランニングパトロールを行うよりも危険箇所が記憶に残りやすい」という自由記述が見られた。本活動は学生が地域と連携して行う活動であり、ランニングパトロールを実践することにより、地域の抑止力となり、防犯や交通安全に貢献することができる活動であると考えられる。

<連携先> 香川大学産学連携・知的財産センター、静岡県警察本部  
NTT ドコモ東海、浜松市デジタルスマート推進本部

\*活動にあたり、香川大学産学連携・知的財産センターよりアプリの提供と浜松市のコーディネートにより NTT ドコモ東海から無償のタブレットを提供いただきました。